

# 診断京都

社団法人 中小企業診断協会京都支部

No.94  
2010年夏号



## 中小企業診断協会京都支部 第51回通常総会開催

中小企業診断協会京都支部の第51回通常総



会が、平成22年5月22日に京都駅前の京都タワーホテルにて、藤井明登常任理事の司会により盛大に開催されました。また、

これに先立って同日に、協同組合京都府中小企業診断士会の第11回通常総会も中村久吉副支部長の司会により開催されました。



近年の傾向として参加会員は年を追うごとに増えており、



加えて新診断士制度の定着と診断協会の一般社団法人化というトピック的な変化に向っているなか、多数の会員が参加し

ました。

総会における質疑応答も活発に行われ、原案どおりの内容でスムーズに可決承認されました。

総会後の17時20分からは会場を別室に変えて懇親会が渡邊文恵理事の司会により開催され、多くの来賓とともに、終始和やかな交流が行われました。



正しく京都支部が活性化してきている事実を、参加者全員が体感できるイベントとなりました。



# 支

# 部

# の

# 取

# 組

弊京都支部の運営基盤を確立するために昨年度において、「組織財政確立委員会」にて組織面、事業面、財政面の3方向からの検討を加えてきました。

その結果を具体化するために、今年度においても「組織財政確立委員会」が活動を開始しています。今年度は、政権交代による影響

等も織り込んで、具体的な方向を打ち出すとともに、その実施を図っていきます。

また、新たに「中小企業施策企画委員会」を立上げ、弊支部中小企業診断士の更なる活動展開を目指します。(第2面上段記事参照)

## 事業開発小委員会からのお願い



京都支部では新成長戦略の一環として昨年度に組織・財政確立委員会を立ち上げました。実務的には、小委員会を設け、組織の拡大・強化、財政基盤の強化、新規事業開発に取り組んでいます。新規事業開発小委員会はこれまでに、MLや診断京都等をと

おしてアイデアを募集して参りましたが、支部会員の皆さまのご努力により従来の事業対応型研究会の他に、京都リサーチパーク株式会社（KRP）や商工会議所等との新たな取組が芽生えつつあります。

公益法人の見直しが進む中、全国各地でいろいろな議論等が交わされています。私たち中小企業診断協会も例外ではありません。秋の事業仕分けをはじめ、今しばらくは乗り越えて行かねばならない障害や難問が山積しています。

ただ言えることは、京都支部を取り巻く環境がどう変わろうとも、京都支部としては、従来にも増して診断士の社会的地位の向上と診断協会京都支部の発展に取り組んで行く

ことに変わりはありません。そのためには組織・財政基盤の確立、強化が不可欠であり、事業面においては、これまでに築いてきた各支援機関等との信頼、連携を一層強固なものとしていく必要があります。それには、施策や事業をこちらから積極的に提案していくことが大切です。民間企業へのアプローチは、なおしかりです。

事業開発小委員会としては引き続き、支部会員ご自身による事業立ち上げ、アイデア等を募集して参りますが、今回は新たに次の視点も加えて募集、事業の開発に取り組んで行きたいと考えます。

- ①ここ2～3年の間で、ご自身が携わられた中小企業向け公的支援事業の中で、大いに効果があったと思われる事業
- ②こんな事業があれば、もっと中小企業に喜ばれるのではないか

皆様のご意見、ご応募をメールまたはFAXにて支部宛にお届けいただければ幸いです。

お手数ですが、タイトルには「新規事業開発の件」と明記をお願いします。

(山脇康彦)

## 無料経営相談会を今年度も実施



昨年度において、周年事業として2種類の無料経営相談会を開催しました。これは、例年の京都中央信用金庫主催ビジネスフェアへの出展と京都府のバックアップのもと京都商工会議所及び京都府商工会連合会

ほかの協力によって実現した「出前相談会」等でした。

今年度は、事務所移転を機会とする京都リサーチパーク株式会社（KRP）の協賛を得て開催するKRP入居企業対象の無料経営相談会を8月2日(月)、4日(水)、6日(金)と開催します。また、10月13日(水)、14日(木)は、京都府総合見本市会館（パルスプラザ）で開催される恒例の中信ビジネスフェアに出展して、無料経営相談を実施します。これに加えて、年末頃～年度末には京都府の推進する出前相談会が府内8カ所にて開催される予

定です。

大企業においては業績好調が伝えられますが、伝統産業の多い京都府下中小企業への波及は非常に遅く、一般庶民の生活実感は厳しいままに推移しています。無料経営相談会は地道な活動ですが、会員診断士の協力と真摯な相談対応により静かにまた深く地元中小企業に中小企業診断士を認識して頂く絶好の機会です。

会員各位の今後とものご協力を期待します。

8月2日、4日、6日KRP入居企業限定無料経営相談会対応診断士は以下のとおりです。

田中道彦、松井宏次、恩村政雄、川村浩一、山崎忠夫、外 直樹（敬称略、順不同）

10月の中信ビジネスフェア及び年末・年度末対策での無料経営相談会対応診断士は、後日に公募を予定しています。

(中村久吉)

# 経営品質研究会



経営品質研究会は、4月に研究会員を再度募集し、現在7名（うちアセッサー3名）で活動を行っています。今年度は、経営品質協議会コミュニケーションセンター JQA Cafe 事務局（（助）日本生産性本部内）が中心となって展開している「JQA Cafe」の仕組みを利用し、会員の経営品質や顧客満足についての理解を深める活動を展開中です。

JQA Cafe とは簡単にいうと読書会の名称で、日本経営品質賞に関連する書籍を、コーヒーを飲みながら気楽に勉強しましょうという意図で名づけられたものです。現在、（社）中小企業診断協会京都支部経営品質研究会の外15のグループがCafe登録し（H22年6月末時点）、全国で勉強会を開催しています。

当研究会では、JQA Cafe 事務局が設定した課題図書を各自毎月1冊ずつ読み込み、読後の感想を述べたり、疑問点を他の会員と共有、解決を行うほか、自ら設定したテーマをもとにアウトプットを行い、その成果を持ち寄り発表し合っています。従来の研究会では、発表担当者だけが準備を行い、それ以外の会員は受け身で参加する傾向にありましたが、毎月各自が責任を持って課題に取り組み自らの成果物を生み出すという現在の活動は、大変有意義なものと考えています。

経営品質の考え方のベースとなる顧客本位については、中小企業診断士が企業の経営革新や、組織改革、その他さまざまな支援活動を行う際に求められる知識です。経営品質向上活動やCS向上に取り組まれている企業にお勤めの会員の方、アセッサー資格の有無にかかわらず、経営品質に関心のある方など、多くの皆様の参加もお待ちしております。

研究会及び経営品質にご興味のある方は研究会

リーダー 山本知美 (bc-forte@tea.odn.ne.jp) までご連絡ください。

経営品質、JQA Cafe については、以下のホームページをご覧ください。

経営品質協議会ホームページ

(<http://www.jqac.com/index.htm>)

(山本知美)

## 課題図書（一部）

1 冊目	『決定版 日本経営品質賞とは何か』 生産性出版
2 冊目	『経営品質入門』 生産性出版
3 冊目	『忘れ去られた経営の原点』 生産性出版
4 冊目	『J.D. パワー 顧客満足のすべて』 ダイヤモンド社
5 冊目	『真実の瞬間－SAS(スカンジナビア航空)のサービス戦略はなぜ成功したか』 ダイヤモンド社
6 冊目	『サービスが伝説になる時－「顧客満足」はリーダーシップで決まる』 ダイヤモンド社
7 冊目	『あなたが創る顧客満足－基本のキホン』 日経ビジネス人文庫
8 冊目	『利益第二主義』 ダイヤモンド社

## 「平成22年4月以降の内部統制研究会」の方向づけ



企業における内部統制の整備・充実を目的にJ-SOX法が制定されたことを契機に「内部統制研究会」を平成19年7月に立上げ、同法の趣旨を踏まえつつ中小企業に適用する方法について、2年9ヶ月にわたり研究会活動を行ない、本年3月をもって

「内部統制・簡易診断チェックリスト」報告書（内容は方針・規定類と基幹業務のあるべき内部統制のあり方）を作成し、当研究会の所期目的を達することとなりました。

この研究期間中においても、中小企業の海外進出や企業連携などグローバル化の一層の進展による経営ルールの変化、IT化をベースとした企業活動で情報瑕疵・漏洩等の新たなリスクの発生、ベテラン社員退職時のノウハウ継承不備等々、中小企業のガバナンス（企業内部統制）に新たな課題がみられます。

このことに鑑み、内部統制研究会の研究成果を中小企業のガバナンスツールの一環として活用を図る

目的で、引き続き研究会活動を行なってもらいます。

【平成22年4月以降の内部統制研究会の方向づけ】

目的：中小企業のガバナンスの充実を図ることを目的に「内部統制研究会・報告書（本年3月作成）」の趣旨を活かしながら、中小企業に顕在・潜在する企業リスクを「見える化」するツール（商品）を開発し、実用促進に努める。

発起人：西河豊（支部責任者）、恩村政雄（運営リーダー）、清澤康弘

新入会：企業リスクを「見える化」するツール（商品）の開発に関心のある方を歓迎

取組み：キックオフ 6月 企業リスクの見える化ツールの検討・開発

第2回 9月 開発ツールの検証（中小企業でモニター実施）と課題検討

第3回 12月 実用化促進の課題検討

以上の内容にて本年度の活動を推進いたします。

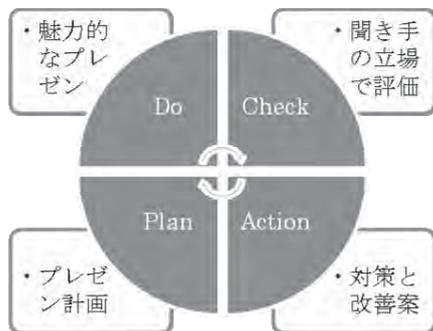
(恩村政雄)

## 「プレゼンテーション・スキルアップ研究会」中間報告 ～プレゼンテーションをCAPDoで強化しよう!～



2010年5月に発足した「プレゼンテーション・スキルアップ研究会（PS研）」には、問題意識が高く行動力に溢れた、小川浩一、清澤康弘、竹下富彦、若島浩文、松井宏次の各氏が集い、事務局（坂田慎一）の6名でスタート致しました。

企業内診断士や創業を計画中の方、中堅診断士やベテラン診断士などバラエティーに富んだメンバーが、毎月第一水曜日に実践形式で研究テーマに取り組んでいます。



「実践から学ぶ」をコンセプトに、全員がプレゼンを実施（10分間）しますが、管理のPDCAサイクルでの取り組みを変え、CAPDo（キャップドゥー）のサイクルを回して、プレゼンテーションのスキルアップを目指しております。

CAPDoとは、聞き手の立場でプレゼンテーションを評価（Check）し、「良い点」と「改善点」をカードにまとめて、プレゼンターに手渡します。プレゼンターは評価内容を真摯に受け止め、改善すべき事項の処置・対策（Action）と具体策を検討して、次のプレゼンテーション計画（Plan）にフィードバックします。

プレゼンテーション後に、CAPDoのサイクルを回すと、長所を伸ばし短所を意識して改善するので、スパイラルにプレゼンのスキルアップが期待できます。

また、プレゼンテーションに必要な、ボイス・トレーニング（清澤講師）、歩き方と正しい姿勢、表情筋の活性化などの基礎トレーニングも取り入れ、メンバーの中にはその成果が早くも現れております。

PS研の中間報告をさせて頂きましたが、「プレゼンテーション成果報告会」を目指して活動に取り組みますので、先輩諸氏のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

（坂田慎一）

## 経営革新支援研究会



経営革新支援研究会では、支部会員の皆さまにお役に立てる情報発信や人脈形成、さらには会員相互の理解と交流や支部・組合の業務拡大を目的に、勉強会を行っています。是非奮ってご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

以下、最近の実施状況と今後の開催予定を掲載します。

平成22年3月10日（水）終了  
講師 京都支部会員 西本 武志様（支部会員）  
テーマ 「野菜生産農家の経営」

平成22年5月12日（水）終了  
講師 日本政策金融公庫 京都支店 国民生活事業  
融資第二課長 石垣 裕包様  
融資第三課長 檜崎 幸治様  
テーマ 「最新公庫融資制度の概要と診断士への期待」

平成22年7月14日（水）終了  
講師 京都未来を担う人づくりサポートセンター ディレクター 杉村 泰宏様  
テーマ 「人材に悩む中小企業への具体的ソ

リユース提案 ～産官学連携事業 京都未来を担う人づくり推進事業の活用～

開催日等は、原則として第2水曜日の18:30から行っています。今年度はあと6回程度の開催を予定しています。今後の予定テーマといたしましては、支部会員から経営コンサルタントとしての豊富な経験を踏まえまして「中小企業診断士独立への道（仮）」や「新入会員さんのPR」などのテーマでお話しいただくことを予定しています。また、外部講師としましては中小企業支援機関を中心にその他幅広く講師をお願いする予定です。



最近特に企業内診断士の方や新入会員の方が積極的にご参加いただいています。できる限り、支部会員の皆さまの人脈形成のきっかけの場として、また最新情報収集の場としてご活用いただけるよう、さらに知恵を絞っていききたいと思います。

是非、支部会員の皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております。

（岡原慶高）

## 起業支援・新規事業支援の現場から⑥

4月より京都中小企業応援センター事業にてコーディネータとして活動しております。毎日の相談業務を通じて本当にいろんな感覚の方がおられるなあと、今回は「学習スタイル」と「コミュニケーション」について取り上げてみたいと思います。



- ①「本を読んで感動した！この社長に会いたい！」→「へ～そう。」→心の声「そのリアクションは何よ？」
- ②「まずは訪問ありきだ！とにかく足でかせごう！」→「訪問する際に持っていくものは何？」→「何もないけど!？」→心の声「え？手ぶらなの？？信じられない」
- ③「話をしていたら頭がすっきりした！新しいアイデアも湧いてきた！」
- ④「ものを考えるときはいつもチャートみたいなメモを書くかな。全体イメージから細分化していくとわかりやすいからね。」

こんな会話、話を耳にしたことはありませんか？①や②のようにコミュニケーションがうまくいかないケース、③や④のように学習のスタイルに特徴がありうまくいくケースは多々あると思います。事業パートナーとの打ち合わせ、上司部下のミーティング、「言っているのにわかってないなあ…」と思うことはありませんか？コミュニケーションは「伝わったことがすべて」です。自分のタイプを知り、相手のタイプを観察し、伝え方を工夫することで、相手の反応にストレスを感じることや伝わらないというコミュニケーションロスを経験できるのではないのでしょうか？自分や相手の学習スタイルを知ることは、コミュニケーションを円滑にするだけでなく、目標に向かって行動を促す方法であり、学習（仕事）の効率を上げる方法でもあります。

以下にコーチングスキルにおける「学習スタイル」別の特徴を列挙します。

### A：聴覚系

- ・テキストや資料を読むよりも、講義を聞く方が頭に入る
- ・大声で読むと理解しやすい
- ・話をしていると頭の中が整理され、新たなアイデアも湧いてくる
- ・声の調子や言葉に反応しやすい  
→騒音があると集中できないので静かな環境で勉強すると効率が上がる  
→セミナーやディスカッションの場を活用すると効果的

### B：言語感覚系

- ・頭の中でいろいろ考えている時間が多い
- ・意味が通じるかどうかにかかわる
- ・新しい事実やデータを関連づけたり、理解したりすることが得意
- ・学習の対象によって記憶する方法がちがう  
→既成の方法ではなく自分なりのまとめ方を好むタイプ  
→文章を書いたりプレゼンの機会があると学習の動機になりやすい

### C：触覚系

- ・マニュアルを読むよりまずは使ってみる
- ・実際に動いてみたり、調べたりすることによって理解する
- ・手を使った仕事や、モノを作ったりすることが好き
- ・身振り手振りをしながら話をする  
→実験、ロールプレイ等の体験型が効果的  
→パソコンを使う、手で書くなどの触覚を刺激する方法が効果的

### D：視覚系

- ・後々思い返すために、メモをとっておく習慣がある
- ・イラストや図を利用することによって、うまく記憶することができる
- ・話を聞くときは、話している人の顔の表情や身振り、手振りを見る
- ・口頭で言われたことより、書面の指示のほうが従いやすい  
→紙に書く、ノートをまとめるときなどは色ペンを使うと効果的  
→チャートなどの図を使い、目で見てイメージが頭に浮かぶようにする

ちなみに私は「聴覚系」で、他の3つの特徴も状況によって活用しています。大学生の学期試験時に大量の暗記をする時も、まずは覚えるものを紙にまとめ→ただひたすら大きな声で繰り返し読み→内容によっては自分に自分で解説しながらしゃべるという方式で試験を乗り切っていました。専門学校で国家試験の受験指導をしていた時代にも、受講生のタイプに応じた学習方法をアドバイスしていました。いま改めて支援の現場で、個々の学習スタイルを理解し個別に対応することの効果を実感しています。

最後に、①は言語感覚系と触覚系の会話、②は触覚系と言語感覚系の会話、③は聴覚系の話、④は視覚系の話でした。

(渡邊文恵)

# はんなり診断士



**外 直樹**  
(そと なおき)

勤務先：サンコール株式会社

京都支部の皆様、こんにちは。今年の4月より、京都支部へ入会した外 直樹と申します。この度、『はんなり診断士』への寄稿を依頼され、診断士としての私を皆様に知って頂く機会が得られたことをうれしく思っています。そこで、自己紹介と今後の目標を述べさせていただきます。

私は、1974年富山県高岡市で生まれ、中学校卒業後、富山市内の工業高等専門学校へ入学しました。5年間の高専生活を終え、古都京都への憧れと社員教育が充実している現在の会社へ就職しました。私の会社は、京都市内に本社があり自動車部品を主力とする精密部品の製造メーカーです。入社後、製造現場、品質管理、製造技術の業務を経験し、現在は生産管理に従

事しています。入社16年目の中堅社員として忙しい毎日を過ごしています。

診断士の受験動機は、自分の能力を対外的に知ってもらい、社外でも通用する資格を取得したいと考えたためです。受験期間中は時間的に余裕があったので、ほぼ毎日、京都駅前の受験機関に通うことができました。また、科目合格制が導入されたこともあり、1年目3科目、2年目4科目と合格し、2次試験も2年目の平成20年に合格することができました。この時に学習する習慣をシナジー効果として得ることができました。合格した翌年の7、8月と今年2月の実務補習を終え、現在に至ります。

今後の目標は、診断士としての活動を増やし、はんなり診断士になることです。診断士としての経験は実務補習の時だけなのでどの程度、貢献できるかわかりませんが、製造業一筋、16年の経験で培ったものづくりの知識を活かして、中小企業が抱える、様々な問題に挑戦したいと考えています。また、自宅が京都市サテパークに近いのでどんなことでもお気軽にお声掛け頂ければ幸いです。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。



**田中 徹**  
(たなか とおる)

旅館勤務

皆さま始めまして、今年診断士試験に合格し、京都支部に入会いたしました田中徹と申します。普段は亀岡市の湯の花温泉にある旅館で働いております。

旅館業務は実に多岐にわたり、効率的な運営をするためには、一人何役もこなさなければいけません。たとえばわたしの場合、接客業務はもちろんのこと、裏方の業務、営業、企画、広報、社員研修、業務管理などなどをしております。また、日本ソムリエ協会認定のソムリエの資格を3年前に取得し、ワインのサービス、管理、ワインを使ったイベントの運営なども行っております。

わたしが診断士試験の勉強を始めたのは、約9年前、現在の職場に入社した年のことです。旅館という職場は、休日や勤務時間が不規則で

あるため、計画的に試験勉強をすることはとても難しいため、独学で学び、4回の受験で何とか無事に資格を手に入れることができました。勉強を始めた当初は、知識が増えていくことが嬉しく、楽しんで学べておりました。年を経るにつれ、学んでいることと、自社の現状とのギャップを意識するようになり、自分の学んでいることを、自社に活かすことが必要であると強く感じるようになりました。若輩者であるわたしの発言に説得力を持たせるためにも、どうしても合格したいという思いがモチベーションとなり、学ぶことを続けてこられたと思いません。

ただ、合格をしただけで、何もしなければ意味が無く、企業内にはおりますが、これからも研鑽を続け、諸先輩方のように、あらゆる方面で活躍できる診断士になりたいと思っております。

接客サービス業出身の診断士は、まだまだ多くないと思います。また、観光産業や、サービス業はこれから更に伸びていく分野であると思います。わたしの経験していることを、少しでも活かして、社会にお役に立てる診断士を目指したいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

ご存知ですか？

# 京都府中小企業団体中央会

「京都府中小企業団体中央会」は、京都府中小企業会館4階に事務所を構える中小企業・組合等連携組織の専門サービス機関です。今回は、事務局次長 近本利和様にお話をおうかがいしました。



京都府中小企業団体中央会  
事務局次長 近本 利和氏

Q. どのような目的で、いつ頃できたものですか？

A. 京都府中央会は、昭和31年1月に中小企業等協同組合法により、中小企業の振興・発展を目的に、組織化と組織強化のための総合支援機関として設立されました。各都道府県に1つの中央会とその全国組織として全国中央会が設置されており、中小企業の組合等を会員とした団体で公益性の高い特別法人です。

Q. どのようなサービスを提供されていますか？

A. 中央会では、組合等の設立・運営から解散までの支援のほか、金融・税制や労働問題などの相談にも応じています。

また、組合等のために活路開拓調査・実現化事業、情報化対策事業、各種研修会、専門家による指導など各種助成事業による支援を行っています。

そのほか、農商工連携、京都ブランド推進、食品及び伝統工芸業界団体の運営、女性部・青年部活動支援、共同事務センター運営など各種団体の事務局としての役割があります。

最近では、ものづくり中小企業支援事業や新卒者就職応援プロジェクトなど中小企業を直接支援する事業も行っており、事業内容が多様化して来ました。

Q. 中小企業診断士にはどのように利用してもらいたいのですか？

A. 利用というより私どもが助けていただく事の方が多岐に思われます。京都では、中小企業診断士さんの活動の場を広げるため、協会とは別に協同組合を設立され昨年10周年を迎えられました。当初は活路開拓の調査事業をこの協同組合に委託する組合も結構ありましたが、最近は景気の低迷や自己負担率も多くなり、調査事業に取り組む組合が少なく、委託の機会が減っています。

中央会も定期的に皆さんの活躍できる場を提供できなくて申し訳なく思っていますが、いろんな専門分野の診断士さんがおられ、分野に応じて相談できるので、とても心強く感じています。

Q. 研修やイベントの情報を入手するにはどうすればよいですか？

A. 会員には、その都度お知らせをしていますが、ホームページやメルマガ（HPから登録できます。）で情報発信しています。

Q. 9月以降のサービスメニュー（研修など）をご紹介ください。

A. 10月にパソコン教室、2月に組合決算・税務・登記講習を予定しております。そのほか組合代表者会議、協同組合や企業組合部会ははじめ各種研修を行いますが、個別に企画しますので、計画の都度案内することにしていきます。

Q. 最後に一言

A. 組合及び組合員企業のPRや中小企業間の交流ネットワークづくりに活用していただくために、昨年「きょうとまるごとネット」(<http://www.kyoto-marugoto.jp/cms/>)という情報検索サイトを開設しました。内容充実のため情報収集に努力中ですが、ぜひご覧ください。  
(山本知美)



事務所風景

京都府中小企業団体中央会

〒615-0042 京都市右京区西大路五条下ル 京都府中小企業会館4F

TEL：075-314-7131 FAX：075-314-7130

URL：<http://www.chuokai-kyoto.or.jp/>

# ◆◆◆◆◆ 智恵経営支援研究会 ◆◆◆◆◆

智恵経営支援研究会は、今年で3年目を迎えています。発足初年度は、知恵経営報告書作成の支援者向け研修会を受講したものの実践の機会がほとんどなく、研究会活動も遅々としていました。2年目は、京都商工会議所の実践セミナー及び専門家派遣が実施され、研究会メンバーに実践活動の機会が巡ってきて、結果は相応の成果を上げることができました。そして、3年目の今年は京都商工会議所に加えて、京都府商工会連合会も研究会メンバーの活用を開始しています。

今年度は、新たな入会で研究会メンバーも増えており、毎月開催している研究会ミーティングには15名前後の参加があります。また、今年から始まった中小企業応援センター事業では、知的資産経営が支援事業に入った関係で専門家派遣を活用することが可能になりました。

一方、全国中小企業団体中央会では、「中小企業魅力発信レポート」を推進しており、今年度は知的資産経営に対してかなりの注目が集まるようになってきました。「知的資産経営報告書」(京都府では、「智恵の経営報告書」)にしる「中小企業魅力発信レポート」にしる、報告書を作成する組織自身の知的資産による戦略的認識を高めるほか、共通最大の効果としては「ブランディング」であろうと思います。大企業は「ブランディング」に対する意識が高いのですが、下請けに見られるように中小企業者の製品や会社名が表に出ることは殆んどない現実の中で、「ブランディング」に対する中小企業の意識は大変に低い訳です。せつかく作成した報告書を、社内だけでなく社外に広く公開して、その効果を最大限に満喫して欲しいと願っています。(中村久吉)

## 理論政策更新研修のお知らせ

2010年度の京都支部開催の理論政策更新研修は、以下の要領にて開始します。

会場：新・都ホテル B1F 陽明殿 (京都駅八条口)

定員：各日とも100名

研修日程及び講師：

日程	科目	講師
8月8日(日) 13:00~17:00	新しい中小企業政策について	京都府 副知事 太田 昇氏
	中小企業の再生支援	京都支部会員 岡原 慶高氏
10月23日(土) 13:00~17:00	新しい中小企業政策について	京都高度技術研究所 専務理事 白須 正氏
	中小企業の経営革新戦略	京都支部会員 秋田 英幸氏

## 編集後記

最近、iPadにiPhone 4、Android携帯など新しいデバイスが次々と登場しています。一部のマニアが飛びついているというだけではなく、教育や医療の現場、企業の営業ツールや店頭でのPOPとして活用し始めるところが増えていきます。一方、コミュニケーション基盤として、twitterのようなソーシャルメディアを利用する人が爆発的に増えてきました。

新しい端末やメディアのような流行り廃りのある物を追いかけるのはけっこう面倒なことかもしれません。でもこのマスからソーシャルへの大きな流れはリソースが限られた中小企業にとって大きなチャンスのはずです。中小企業でもこれら新しい道具をもっと活用するべきです。そして中小企業を支援する診断士も世間の大きな流れを見極めて新たな道具や考え方をどんどん取り込んでいく必要があると痛感しています。もしかすると診断京都も新しい形式にて皆さんへ情報をお届けしないといけないのかもしれないかもしれませんね。

(杉村麻記子 Twitter: m\_sugimura)

## 京都支部 行事予定

8月2日(月) 4日(水) 6日(金)	無料経営相談会(KRP)
8月8日(日)	理論政策研修1回目
10月6日(水)	近畿ブロック事務連絡会議
10月13日(水) 14日(木)	無料経営相談会 (中信ビジネスフェア)
10月23日(土)	理論政策研修2回目
11月27日(土)	支部厚生行事
12月4日(土)	支部会員研修

### 診断京都

No. 94

2010年8月発行

社団法人中小企業診断協会京都支部

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93番地

京都リサーチパーク スタジオ棟D-206号室

TEL (075) 325-5731

FAX (075) 325-5675

メールアドレス info@shindan-kyoto.com

ホームページ http://www.shindan-kyoto.com/

印刷所 株大気堂 TEL (075) 361-2321

FAX (075) 361-5047